

ぶどうの木

夏号
2020 JULY
Vol.49

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より

No.49

発行：(株)十字の園法人本部 理事長 鈴木 淳司
印刷：アド・アール株式会社

住所：〒431-1304 静岡県浜松市北区郷江町中川7220-11 TEL. 053-414-1400 FAX 053-420-2100

発行日：2020年7月1日 第49号
(掲載されている写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています)

オンライン面会(伊豆高原)

伊豆高原十字の園 岩本 佑太

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための面会制限。インフルエンザによる一時的な面会制限はあったものの、これほど長期間にわたる制限は初めてです。そこで、少しでも入居者の皆さま、そしてご家族の皆様の不安が解消できればと、Webミーティングアプリを利用したオンライン面会を開始しました。

ご家族の反応ですが、「元気そうで安心した」「顔を見て声を掛けることができ良かった」など大変好評。中には東京にいるお孫さんも参加し“4地点でお話し”なんてことも！さて、入居者さんは？と言いますと…「顔が映るなら化粧しなきゃ！」と準備万端で臨む方や、「読みたい本があるから送って」と息子さんに頼む方。「画面で話ができるわけない！」と疑い深い方も、「おとうさん、元気？」と声を掛けられるとニコリ笑顔です。

ご家族が遠方という入居者さんも多くいます。面会制限の中で開始したオンライン面会ですが、大切な家族とのコミュニケーションツールの一つとして、コロナ終息後も継続していきたいと思っています。



寄付報告 Donation report

温かいご支援を
ありがとうございます。

2019年度も多くの皆様から心温まるご支援とご寄附を賜わり、誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄附は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入に充てさせていただきます。今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に応える施設として活動する十字の園へのご支援をよろしくお願いいたします。

■法人本部	10件	305,000円	■アドナイ館	47件	1,595,100円
■浜松十字の園	56件	1,147,050円	■御殿場アドナイ館	2件	10,425円
■御殿場十字の園	57件	1,563,831円	■第2アドナイ館	10件	1,590,000円
■伊豆高原十字の園	41件	921,309円	■伊東市立養護老人ホーム	6件	285,080円
■松崎十字の園	5件	127,000円	■オリーブ	3件	25,000円

合計 237件 7,569,795円

あとがき
今年度最初の広報委員会の会議がコロナ禍の4月にTV会議で開催されました。私にとって初めてのTV会議でしたが、ちゃんと会議が成立するんだなあ、というのが率直な感想でした。そこでこの便利なツールを活用しない手はないのではなからうかと思いついたのが、離れた法人事業所の利用者同士の交流。利用者同士による事業所対抗オンライン輪投げ大会などなど…。なんていうのも新しい世界が広がるのであり、なんじゃないでしょうか？
(佐々木)

十字の園の採用サイトを
作成しました。
ぜひ、お知り
合いの方にご
紹介ください。



表紙写真の説明

左上2枚：
伊豆高原十字の園でのオンライン面会の一コマです。
(内容は上段に記載)

右下1枚：
アドナイ館へ地元の高校生から、心のこもった手作りマスクが届けられた時。

コロナ禍に家族・地域と繋ぐ

目次

- 理事長挨拶
- 法人役員
- 2019年度決算報告
- 十字の園職員紹介“VOICE”
- 新人職員紹介
- 寄付報告
- あとがき

「今こそみんなに支えられ
優しい心でつながる笑顔
新型コロナウイルスに負けないぞ」





一日一日 感謝を持って

Suzuki Atsushi

理事長 鈴木 淳司

職員の皆様、日々様々に努力を重ねて十字の園を支えて頂き誠にありがとうございます。

2019年度を振り返りますと、理事長の交代に始まり、9月、10月と台風や大雨の自然災害、2月には新型コロナウイルスの感染が拡大し対応に追われました。私達を取り巻く環境は、不安な要因が大変多くなり気の休まらない日々が今も続いています。

私達は平凡な日々で安心を感じて暮らしています。その為日常の変化は不安につながります。不安を取り除き安心して暮らして頂けるように私達は支援をしています。「安心して生きる基礎」は日常の繰り返しの内にあり、毎日新たに作られていくものです。私達をご利用者と共に作る一日一日が大切なものであったことに改めて気づかされます。以前の当たり前だった家族との交流や行きつけの店で仲間と交わす他愛のない会話はすっかり失われてしまいました。この「繰り返しの喪失」が静かに心身のダメージとなり広がっています。

鈴木唯男氏(初代理事長鈴木生二氏の兄)の著書『愛は忍び耐える』では、結核と言う不治の病の中で生活する人々と共に暮らす姿が描かれています。

「病む人の日々は自覚的にも、他覚的にも死が予想され、それが日毎により具体的に、現実的になってくる。働き人もあるがままで、病む人々と一日を共にする。明日の保障など全く考えない日々であった。外側から見られる人々には、さぞかし、深刻な、悲愴な重苦しい雰囲気は想像された事であろう。」(中略)「貧しさの中で、分かち合って生きる豊かさは、何物にもまさる明日への生命の確かな保障であったのだ。ここにも明るさの保ちえた真意が秘められている。

お互いに分かち合って、今日与えられた恵みの賜物を最大に用いつくして今日を精一杯に生きるという生き方以外にはなかった。そういう生き方を、主がよしとしたもうまで、耐えながらという仕方、その時々に対応しく恵が与えられた。その中で一日の労苦は、その日一日だけで十分だとしていた。」

先達の思いが今に活かされます。私達も、与えられている豊かさに感謝し、それを仲間と伝えあい、分かちあって過ごす毎日を大切に、これからも、神様の恵みの中で一日一日精一杯皆様と一緒に歩んで行きたいと思います。

理事

『働きを与えられ感謝』



Suzuki Arata

法人本部 鈴木 新

わたしが十字の園での働きを与えられたのは2010年秋でした。当時の理事長平井章さんは頼られたら何とかするという特技の持ち主で、その厚意に甘えて57才での再就職となりました。法人事務局に配属となり、採用翌月の理事会で当時不在だった事務局長に任命され、平井理事長の下で十字の園での仕事がスタートしました。伊豆高原十字の園の新築移転工事が竣工した直後の2011年3月、東日本大震災が発生しました。法人での募金活動や災害支援ボランティアへの職員派遣などの事務局として活動し、行政、他法人や日本キリスト教社会事業同盟、ボランティア団体等との協同、連携に関わり、多くの職員、利用者にご協

力ご支援をいただきました。

2012年度から、それまで複数あった社会福祉法人の会計基準が統一され、新会計基準でのシステム運用を開始しました。2016年2017年には、社会福祉法人の制度改革がおこなわれ、法人経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革が進められました。役員、評議員会、理事会等の権限や責任が法的に明確となり、情報公開や役員報酬基準、いわゆる内部留保の透明化がすすめられました。また、会計監査人(監査法人)を設置し、内部管理体制の整備を行い経営の近代化を図りました。2016年秋、この対応作業の最中に理事長が緊急入院したため、病室で理事長と協議し事務を進めたことが懐かしく思い出されます。2019年度から、鈴木淳司理事長のもと新体制が発足し、私は山本隆弘本部長にバトンを渡しました。今後は非常勤の理事として内部監査等を担当します。微力ですが、十字の園が地域にとって必要とされる法人であり続けられるよう責任を果たしていきたいと思っています。10年間働く場を与えられたことに感謝です。

理事

『今後も』



Suzuki Hiroyuki

伊東養護老人ホーム 施設長 鈴木 啓之

変さは負わせたくないとい生懸命に動いています。

この自粛や制限が長く続き、社会的に問題も出てきています。家庭内虐待、心に傷を負い、今以上に行き場を無くす人が増えるのではないかと正直不安に感じました。

そのような状況の中で、ある時誰にでも「ありがとう」と感謝の気持ちを表しておられる利用者さんの姿を見ました。私はその姿に希望の光を感じ取り、改めて私たち職員同志もこんな時だからこそ笑顔で「ありがとう」と感謝を伝え合いたかったです。

私たち十字の園は困っている人に手を差し伸べ、助け合って、苦しむ方の辛さを受け止め、支援して来ました。ニーズというものは今後も存在し、新しい時代には新たなニーズが生まれるでしょう。私たちはキリスト教精神に立って創意工夫をして事業を進め、八二姉妹の「皆キリストの十字架の下でだけ一つになって働く団体にしたいと思っています。」の言葉と「理念」を大切に、新しい日常の変化の中、笑顔と感謝で歩んでいきたいと思っています。

機関誌 ぶどうの木について

ヨハネによる福音書15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結ぶことを喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。

社会福祉法人 十字の園の **新体制** New Board Member



浜松十字の園 施設長
古橋 美恵子

Furuhashi Mieko

4月より、浜松十字の園の施設長に就任いたしました古橋美恵子と申します。浜松十字の園はキリスト教の精神を大切にしており、職員は聖書を手にする機会が多くあります。

先日、職員6名ほどで聖書の内容について話をしておりました。幼い頃から聖書に馴染んでいる職員、十字の園で初めて聖書を手にした職員もいました。話題は、ルカによる福音書第10章38節～です。旅の

途中でイエス様が姉妹の住む家に寄られた時、姉はもてなそうと忙しくしていた。一方の妹はイエス様の足元に座り御言に聞き入っていた。姉はイエス様に「妹に私の手伝いをするように言って下さい。」と申し出た。というお話ですが、「私は姉の気持ちがよくわかる。妹が『一緒に御言を聞きましょう。そのあとにおもてなしをしましょう』と声をかけたら一緒に座って話を聞いたらどうだろうか？」など様々な話をし、最後に「イエス様はどうしてほしかったのか？」と疑問が出ました。この姉妹のような話は日々の中でもよくあることです。

浜松十字の園は特別養護老人ホームで120名の方が生活されています。子ども職員は皆様がよりよい生活が送れるよう考えることが大切になります。姉の様に忙しくする職員、妹の様にご利用者の側に座りお話をしている職員もいます。会話の最後の「イエス様はどうしてほしかったのか？」、このことは「ご利用者の気持ちはどうだろうか？」ということにも繋がります。姉の気持ちも、妹の気持ちもよく理解したうえで、一番はどなたの気持ちを考えなくてはならないのか常に自身に問いかけながら努めてまいります。どうぞよろしく申し上げます。



御殿場十字の園 施設長
高橋 雅昭

Takahashi Masaaki

この度御殿場十字の園の施設長を前任者の宮島から引き継ぎました高橋雅昭と申します。よろしくお願いいたします。御殿場十字の園は浜松十字の園ができて

から2番目に建てられた施設で、間もなく開設から50年を迎えようとしています。

御殿場十字の園は特養を中心にデイサービス、居宅介護支援事業所、グループホームなど多岐にわたってサービスを展開しています。

職員も160名位おりますが、私は「職員とともに、利用者の方々を支える」を目指したいと思っております。当たり前のことかもしれませんが、最終的に目指すところは理念に基づくケアを行うことですが、職員がやりがいを持って生き生きと働くことで利用者の方に良いケアができると思っております。

介護保険制度の改正や介護人材の不足など私たちを取り巻く状況は厳しくありますが、歴代の施設長が受け継いできたバトンを引き継ぎ、地域のために必要とされる御殿場十字の園となるよう頑張りたいと思っております。



伊豆高原十字の園 施設長
宮島 克利

Miyajima Katsutoshi

初めての転勤

十字の園は浜松、御殿場、伊東、松崎の4つの市町に拠点となる施設があり、それぞれ地域のニーズや実情に応じて事業が展開されてきました。その為、同じ法人施設であっても仕事の仕方や職場の雰囲気などが違いがあり、よく外部

の人が各施設を回られると「施設ごと特徴があって全然違いますね」と言われることがあります。それだけ各施設が地域の一員として地域に根づいて運営されてきたからなのだと思います。

います。とても良いと思っております。職員も法人の階層別研修などはあるものの基本的には各施設で育成が図られています。

しかし、一方では折角複数の施設があってもそのメリットを活かしきれていないところがあります。ヒト、モノ、カネの経営資源は施設ごとで完結しがちで、共有して何かに取り組むといったことが少なく、また、その施設の中に入ると働かないと分からないことや気付けないことが色々あるかと思っております。そうした機会があまりないのが現状です。誰でも転勤をととは思いませんが、もっと職員が各施設を行き来しやすいよう環境を整えていく必要があります。

その為だけということではありませんが、先ずはわたし自身この4月から22年間勤めさせていただいた御殿場から伊東市にあります伊豆高原十字の園に転勤いたしました。初めての転勤で戸惑うことが多くありますが、今は日々新たな発見があり充実しています。伊豆高原は御殿場や松崎に行くにはどちらも車で約1時間半かかりますがちょうど中間点にあります。各施設の良いところ取りをしながら、スケールメリットを活かした取り組みをしていけたらと思っております。

2020年度、新しい施設長が任命され、十字の園の組織体制が大きく変革されました。新しい施設長・本部長にそれぞれの想いをお聞きしました。



アドナイ館・第2アドナイ館
施設長
河出 雅代

Kawade Masayo

この度、アドナイ館及び第2アドナイ館の施設長に就任しました河出雅代です。

大学を卒業し、十字の園に就職したのがちょうど30年前の事。

30年前というと、高齢者福祉の世界では、ゴールドプランがスタートし、社会福祉士・介護福祉士が登場

したところです。10年後、今度は、介護保険制度という大改革がございました。そしてさらにそれから20年。移り行く時代の中で、これまで介護や相談業務に携わり、自分に与えられた仕事や役割を必死になってこなしてきたような毎日ですが、今回施設全体の舵取りを担う立場に責任の重さを感じております。

いかに法律や制度が変わろうが、その受け手も担い手も「人」です。諸先輩方から教えられた「その人のその日その時」のニーズに応える姿勢に変わりはありません。大切にしてきた理念を踏襲し、わたしたちの施設が、利用者やそのご家族、職員らにとって常に温かく安心できる場であるよう力を尽くします。お力添えをよろしく申し上げます。



松崎十字の園 施設長
小川 秀幸

Ogawa Hideyuki

この4月から松崎十字の園の施設長に着任いたしました小川秀幸と申します。これまで伊豆高原に勤務しておりましたが、ここ松崎十字の園は高齢者福祉だけ

ではなく、障害者の施設入所、生活介護、相談支援、就労支援等を運営していることもあり、私としては今

までと異なった地域福祉を経験できる法人十字の園の多機能、多様性に感心すると同時に、不慣れな私を温かく受け入れてくださる松崎の皆さんに感謝と嬉しさを日々感じております。

福祉業界は社会保障制度や人材不足、地域のニーズなどの課題が山積、多様化しておりますが、利用者や職員が生き生きと、そして笑顔でいられるようにすることは施設長としての使命だと思っております。二代目の施設長として今後この施設をどのように運営していくか目下模索中ですが、前任の三條施設長の働きに感謝と敬意を表しつつ、三條施設長が作ってきた松崎のカラーを少しずつ私の色に変えていきたいと思っております。どんな色になるのかはお楽しみに。



法人本部長
山本 隆弘

Yamamoto Takahiro

昨年4月、理事長交代。6月に理事2名と監事1名の交代が行われ、法人執行部が大きく変わった1年でしたが、この4月、伊東市立養護老人ホームを除く6

つの拠点施設の施設長が一斉に交代し、私も浜松十字の園施設長の任を外れ、法人本部長に就任しました。

世代交代の動きが一旦終結し、新たな体制での動きが始まります。

今年、十字の園は創立60年目を刻んでいます。キリスト教の精神に基づいた創立者たちの働きを目の当たりにしてきた職員がわずかになり、クリスチャンの施設長も皆無になり、創立の精神を引き継いでいくことの大切さを痛感しています。ちょうど1年前のこの機関誌にも書かせていただきましたが、十字の園創立に大きな働きをされたハニ姉妹が話された「人の思いではなく、神様の力の大きさでやりたい」との言葉を改めて心に刻み、神様が備えられたこの時、神様の御心を祈り求め、神様の力に委ね、示された役割を成していく所存です。どうぞよろしく申し上げます。

2019年度事業報告

2019年度、台風や大雨の災害、新型コロナウイルスの感染拡大と対応に苦慮するところの多い年でした。その中で、十字の園の理念を持って職員の皆様が努力してくださいました。また、地域の皆様にも支えられて運営することができました。地域のみならず、ご協力頂いた関係各位、そして何よりも職員のみならず全員に厚く御礼申し上げます。

事業計画に掲げた5項目について、取組結果を報告させていただきます。

1. 創立の精神(こころ)を受け継ぐための実践

十字の園の行動規範に基づく意識を持つために『社会福祉法人十字の園職員ハンドブック』を作成しました。各自が携帯して読んで頂いていると思います。

ハンドブック配布の際に名刺も配布しました。名刺と一緒に配布したのは、十字の園の職員である自覚が高まり、外部研修の参加の際などに使って頂くためです。

十字の園大会では、前遠州栄光教会牧師森田恭一郎氏に「ケアと礼拝の関係」と題して講演いただき、礼拝の意義を再認識することができました。

2. 新しい組織体制への改変

組織体制を整えるために進めていたリスクマネジメント規定、コンプライアンス規定、職務分掌を作成することができました。規定に基づき組織体制が整えられるように取り組んでいきます。

広報誌を職員が読んで分かりやすい内容にぶどうの木47号から紙面構成を変えて発行しました。ホームページは、就職希望者に親しみやすい検索内容になる様に変更し、今年度は全体の内容も変更して行けたらと考えています。

専門職部会に介護部会を作り、資質向上に向け取り組みがスタートしました。

3. 地域との共生社会の実現

浜松地区では、地域に向け総合見学会を昨年に続き開催しました。

御殿場地区では、地域包括支援センターが増えた事で

続いて、事業実績を数字やグラフにして報告させていただきます。

十字の園の理念

聖書

「夕暮れになっても光がある(ゼカリヤ書)」

言葉

「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」

地域との関りも益々増え、今年度より市の委託を受けて家族介護教室の実施も行っていきます。

伊豆高原では、対島地域ふるさと協議会と連携し子ども食堂、介護教室、サロン活動を定期的に開催しています。台風15号による断水では地域から支援を頂き、職員が協力して乗り切ることができました。

松崎では、障がい者支援の取り組みが広がっており、今年度より「地域生活支援拠点事業」の委託を受けて取り組んでいきます。

4. 採用・人材育成の取組と研修の連動による働き甲斐の創出

評価制度を続ける中で、それぞれの職員が研修や働き甲斐について面談などを通じて話す機会が定着してきています。今後は更に研修計画の充実に繋がる様に取り組んでいきたいと思っています。

5. 内部管理体制の整備と中長期計画の策定により経営の健全化に向けて取り組む

10年間地域に愛された小規模多機能事業所の閉鎖は残念ですが、新たな形で地域の皆様のお力になれるように職員の皆様と一緒に今後も取り組んでいきたいと思っています。

中長期計画策定については、今年度も継続した課題として取り組んでまいります。



多くのつながりの中で、
実を結ぶことができました。

法人本部長 山本 隆弘

2019 Financial Report

社会福祉法人十字の園

2019年度 決算報告

POINT

- 新型コロナウイルスへの対応により医療・介護業界の経営は大きな影響を受けています。十字の園においては一部の事業が休止になったり、出勤できない職員もありましたが、大きな影響はなく2019年度を終えることができました。
- 2019年10月より、介護職員等特定処遇改善加算の算定が開始され、2019年度の加算額は法人全体で2,346万円になりました。いただいた加算を2020年1月から手当として職員に支給し、6月支給分まで含めるとその額は2,442万円になります。
- 新規の加算による収入増があったものの介護保険事業収入は27億6,062万円(前年比540万円減)となり、大口の寄付金も少なかったことから、サービス活動収益は前年比3,955万円減の33億7,418万円となりました。人件費について、特定処遇改善手当の支給に加え、会計監査人の指導により取り扱いを変更したため(P8参照)24億3,074円(前年比5,400万円増)となり、経常増減差額は前年比5,554万円減の5,343万円の計上となりました。更に、浜松十字の園建替事業を全面的に見直すことになり、建設仮勘定で計上していた費用4,590万円を損失処理したため、一般企業で言う「利益」に相当する当期活動増減差額は46万円となりました。
- 御殿場十字の園は地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金を活用して非常用発電機を更新しました。

1 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

勘定科目		決算額	勘定科目		決算額
流動資産		108,376	流動負債		38,335
固定資産		397,631	固定負債		114,617
基本財産		325,214	負債の部合計		152,952
その他固定資産		72,417	基本金		87,012
			国庫補助金等特別積立金		149,404
			その他の積立金		12,420
			次期繰越活動増減差額		104,218
			(うち当期活動増減差額)		10,972
			純資産の部合計		353,055
資産の部合計		506,008	負債及び純資産の部合計		506,008

2 事業活動計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

勘定科目	決算額
サービス活動収益計①	337,418
サービス活動費計②	333,144
サービス活動増減差③=①-②	4,273
サービス活動外収益計④	3,476
サービス活動外費用計⑤	2,406
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	1,070
経常増減差額⑦=③+⑥	5,343
特別収益計⑧	1,472
特別費用計⑨	6,769
特別増減差額⑩=⑧-⑨	△5,297
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	46
前期繰越活動増減差額⑫	102,939
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	102,986
その他の積立金取崩額⑭	2,042
その他の積立金積立額⑮	810
次期繰越活動増減差額⑯=⑬+⑭-⑮	104,218

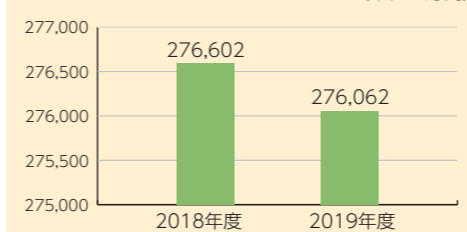
3 資金収支計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

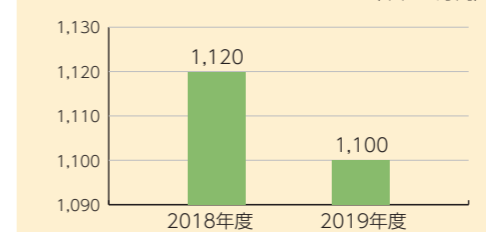
勘定科目	決算額
事業活動収入計①	342,922
各種事業収入計	338,689
寄付金収入	756
事業活動支出計②	322,442
人件費支出	242,456
事業活動資金収支差額③=①-②	20,480
施設整備等収入計④	18,758
施設整備等支出計⑤	34,024
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△15,266
その他の活動収入計⑦	3,773
その他の活動支出⑧	4,031
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△258
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	4,955
前期末支払資金残高⑪	91,793
当期末支払資金残高⑫=⑩+⑪	96,749

※決算書類の詳細は当法人ホームページをご参照下さい。
<http://www.jyuji.or.jp/>

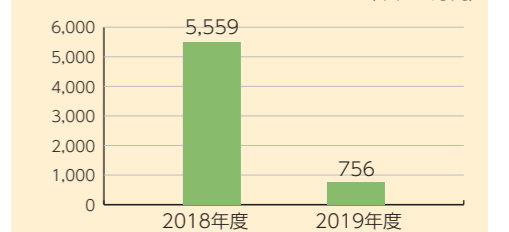
介護保険事業収益 (単位: 万円)



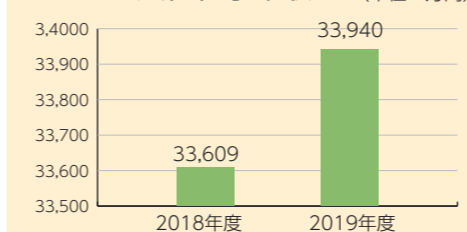
就労支援事業収益 (単位: 万円)



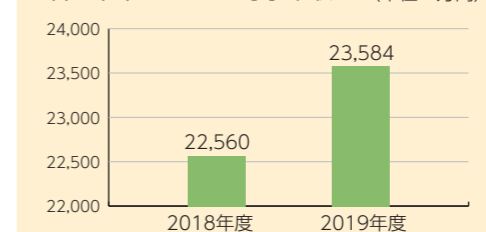
寄付金収益 (単位: 万円)



老人福祉事業収益 (単位: 万円)



障害福祉サービス等事業収益 (単位: 万円)



言葉の解釈

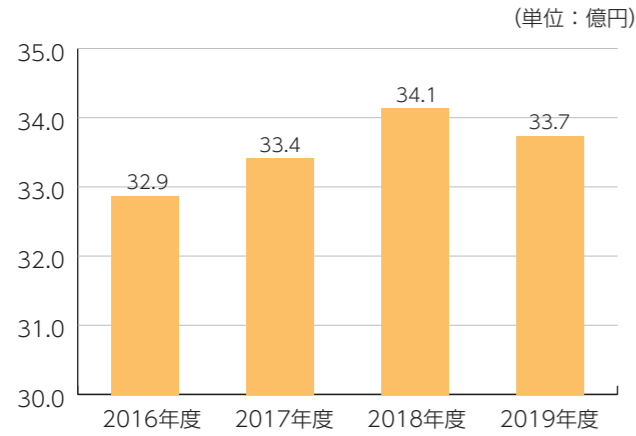
介護保険事業収益
特養、デイサービス、訪問、居宅支援、地域包括支援センターなど介護保険事業の収入

老人福祉事業収入
ケアハウス、養護老人ホームなどの収入

障害福祉サービス等事業収益
障がい者入所施設、デイサービス、訪問、相談支援などの事業収入

2019年度 事業実績

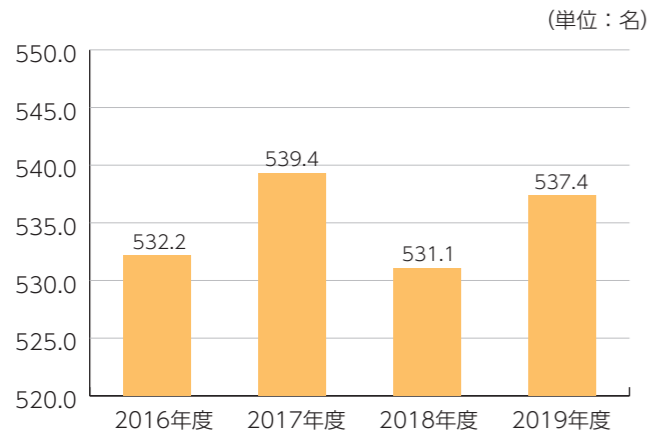
サービス活動収益計



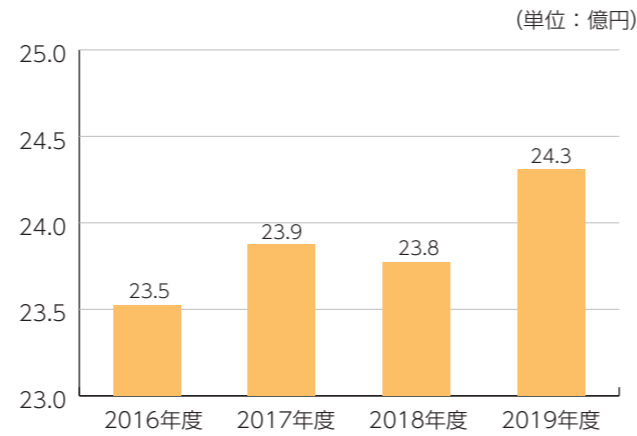
法人全体では3年連続で増収・増益を続けていましたが、2019年度は寄付金収益が前年度比4,800万円減、人件費の扱いで、3月の夜勤や超過勤務手当は4月給与で支給するため翌年度費用として計上してきましたが、2019年度より当該年度の費用で計上することになり4,500万円程度増えたことが影響し、減収減益となりました。



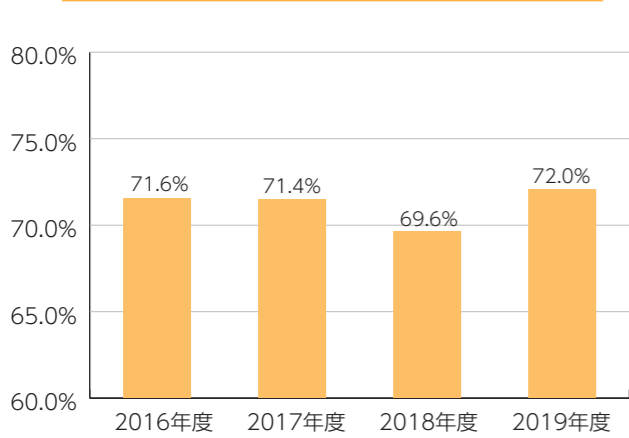
総職員数【常勤換算】



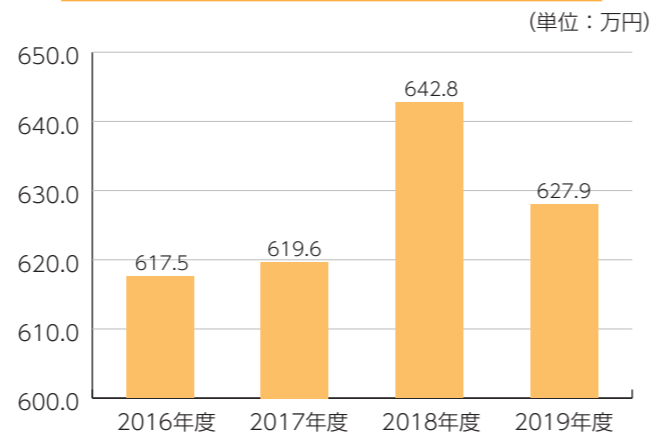
人件費計



人件費率



職員1人あたりの収益



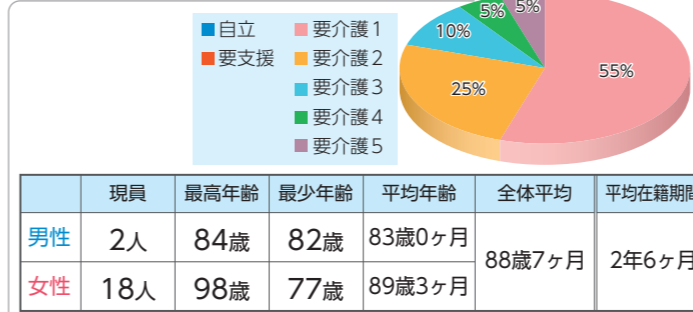
(お詫びと訂正)

昨年のこのページに掲載した総職員数(常勤換算)の集計に誤りがあり2016~2018年度の実績を修正しました。

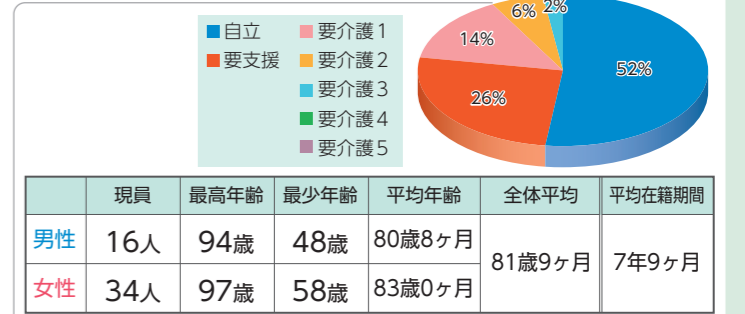
各施設の利用者の概要

- ・最高年齢は107歳(伊豆高原十字の園)
- ・平均介護度が最も高い施設は伊豆高原十字の園
- ・平均在籍期間が最も長い施設はオリブ
- ・地域や事業種別ごと、特徴ある運営を行っています。

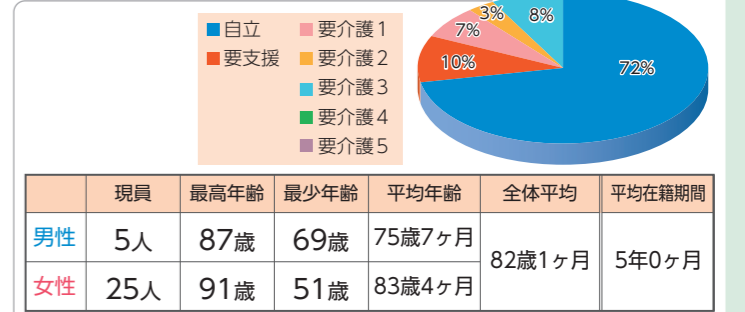
ケアハウス 第2アドナイ館



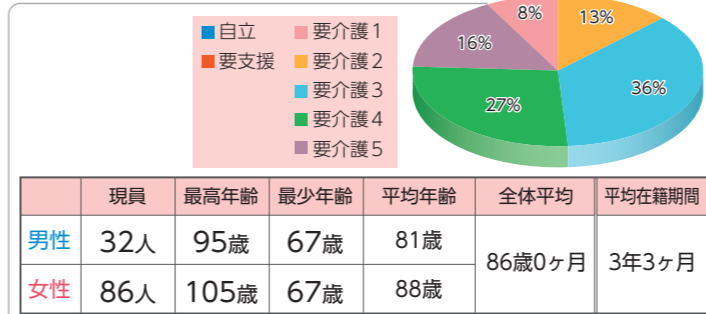
ケアハウス アドナイ館



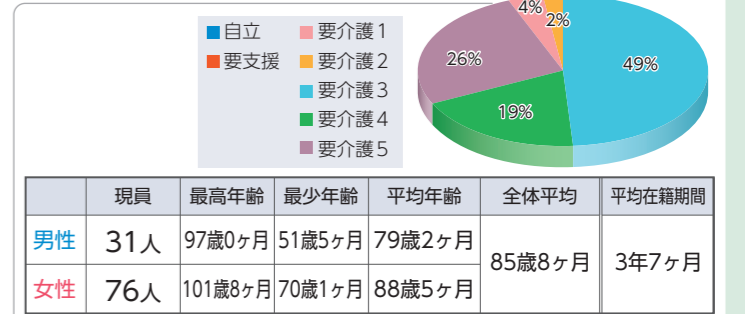
ケアハウス 御殿場アドナイ館



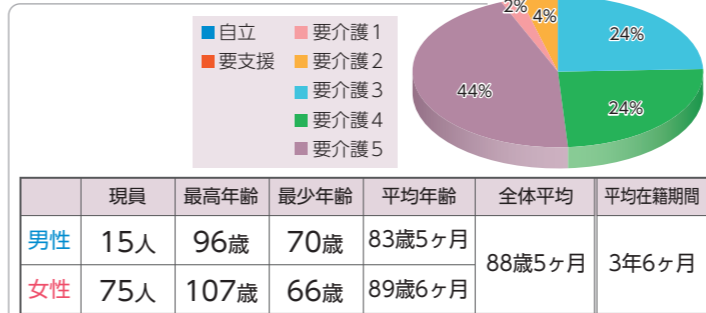
特別養護老人ホーム 浜松十字の園



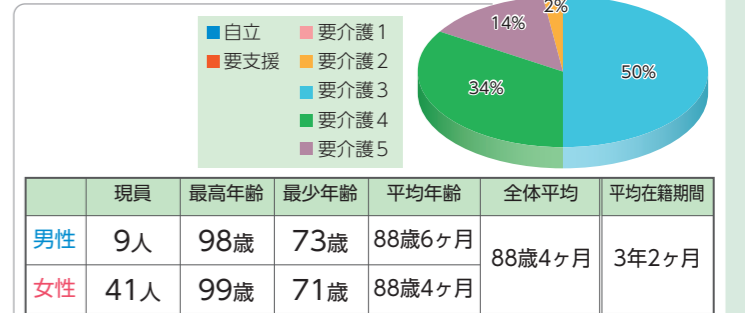
特別養護老人ホーム 御殿場十字の園



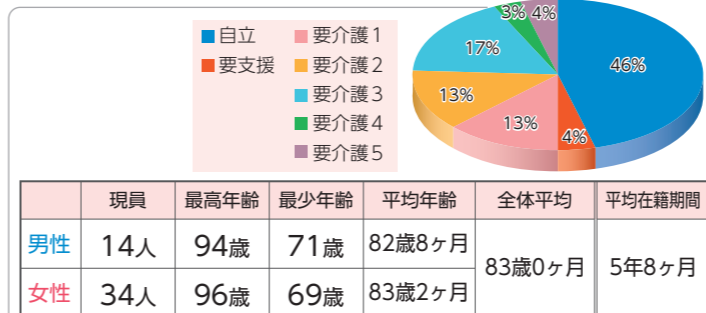
特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園



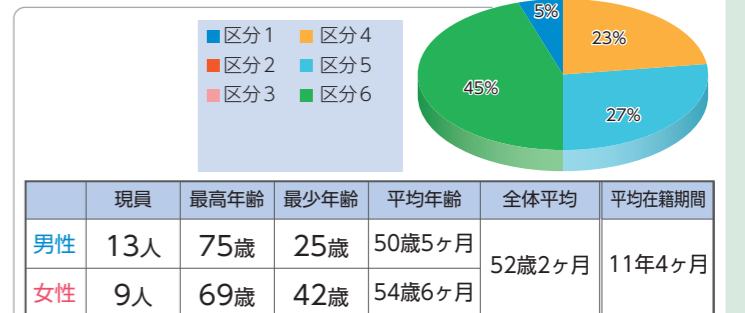
特別養護老人ホーム 松崎十字の園



伊東市立養護老人ホーム 平和の杜



障害者支援施設 オリブ



職員紹介 STAFF INTRODUCTION
VOICE
Introduce the face of the staff

ご利用者様、職員と話すことを大切に

Q 十字の園に就職しようと思った理由は？

実習に来た時に、ご利用者様と間近で関わっている管理栄養士さんの働く姿を見て、ここで働きたいと思いました。



Q 十字の園で働いて思うこと。

松崎で働いた2年間は、私の宝物です。暖かい方たちに囲まれて、とても楽しく過ごすことができました。

浜松では、日頃からご利用者様やユニット職員と会話をし、ご利用者様の様子を知り、栄養ケアに活かしていくことが大切と感じています。



Q 筒井さんが仕事で一番大切にしている事は？

ご利用者様や職員とたくさん話すことを大切にしています。



SAKIKO TSUTSUI

STAFF File.03

つつい さきこ

筒井沙希子

平成28年4月1日入社（勤続4年）

特別養護老人ホーム 浜松十字の園
健康サポートグループ 管理栄養士

好きな食べ物：イチゴ、鯖の刺身、ローストビーフ、馬刺し、母が作った煮物
嫌いな食べ物：しいたけ、漬物、山菜、ナタデココ

新人職員紹介コーナー

<p>浜松十字の園 施設介護職員 森上 栞 MORIKAMI SHIORI 落ち着いているところ です。</p>	<p>浜松十字の園 短期入所介護職員 安倍 萌 ABE MOE ポジティブです。</p>	<p>浜松十字の園 生活相談員・介護職員 渡邊 智佳子 WATANABE CHIKAKO 落ち着いているところ です。</p>
<p>浜松十字の園 施設看護職員 中田 かおり NAKADA KAORI 明るく元気なところ です。</p>	<p>浜松十字の園 施設介護職員 紅林 佳寿美 KUREBAYASHI KASUMI コツコツと努力する ところ です。</p>	<p>浜松十字の園 事務職員 北川 ユミ子 KITAGAWA YUMIKO 一生懸命努力する ところ です。</p>
<p>アドナイ館 調理員 内田 友美 UCHIDA TOMOMI ラーメンを麺から作 れます。</p>	<p>アドナイ館 歯科衛生士・介護職員 和田 明子 WADA AKIKO 笑顔です。</p>	<p>伊東市立養護老人ホーム 施設介護職員 竹田 保夫 TAKEDA YASUO 機械関係の修繕が得意 です。</p>
<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 熊田 佳玲 KUMADA KAREN セールスポイントは笑 顔です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 稲葉 まゆみ INABA MAYUMI どこでもすぐに寝る ところ です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 居宅介護支援専門員 森田 淳子 MORITA JUNKO 明るく元気なところ です。</p>
<p>伊豆高原十字の園 施設看護職員 清水 ゆかり SHIMIZU YUKARI 人当たりが良くマイ ペースなところ です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 石井 志乃 ISHII SHINO 物怖じしないところ です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 デイサービス看護職員 杉浦 里奈 SUGIURA RINA 笑顔です。</p>
<p>伊豆高原十字の園 給食室 土屋 美子 TSUCHIYA YOSHIKO お菓子作りが得意で、 休日に子供と一緒に 作っています。</p>	<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 大崎 敬太 OSAKI KEITA 周囲に流される事なく 自分の決めたことを全 う できます。</p>	<p>伊豆高原十字の園 事務職員 杉山 菜海 SUGIYAMA NAMI 体を動かすことが得意 です。</p>
<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 小川 里美 OGAWA SATOMI 明るく楽しく前向きに 頑張れるところ です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 施設介護職員 三好 健太 MIYOSHI KENTA 程ほどに真面目です。</p>	<p>伊豆高原十字の園 デイサービス介護職員 金子 みづほ KANEKO MIZUHO 笑顔で優しくご利用者 様に寄り添う介護をし ています。</p>
<p>伊豆高原十字の園 給食室 渡邊 聡 WATANABE SATOSHI バスケットボール大好き！ ランニング、カラオケ、パソ コンが得意です。休日は4人の子 育てに奮闘しています。</p>	<p>伊豆高原十字の園 給食室 三須 匡 MISU TAKUMI アウトドアが好きな ので、バーベキュー得意 です！</p>	

<p>御殿場十字の園 施設介護職員 下田 妃菜子 SHIMODA HINAKO バスケットボールとお 菓子作りが得意です。</p>	<p>御殿場十字の園 短期入所介護職員 野木 将平 NOGI SHOHEI 朝、利用者さん全員に お声をかけ、仕事を始 めます。</p>	<p>御殿場十字の園 施設介護職員 竹内 雄祐 TAKEUCHI YUSUKE 料理を作ることがとて も大好きです。</p>
<p>御殿場十字の園 介護支援専門員 西田 朋美 NISHIDA TOMOMI 初心者ですが家庭菜園 やっています。</p>	<p>御殿場十字の園 機能訓練指導員 渡邊 聡洋 WATANABE AKIHIRO 趣味で釣りをやってい ます。(海釣り)</p>	<p>御殿場十字の園 施設介護職員 村上 こずえ MURAKAMI KOZUE 私はお酒を飲んでも酔 いません。(笑)</p>
<p>御殿場十字の園 施設介護職員 成川 英直 NARUKAWA HIDENAO 私は集中力を高める方 法を持っています。</p>	<p>松崎十字の園 ワークショップ・マナ 安達 法子 ADACHI NORIKO 笑顔は誰にも負けませ ん。</p>	<p>松崎十字の園 デイサービス介護職員 土田 和明 TSUCHIDA KAZUAKI 体力には自信がありま す。</p>
<p>松崎十字の園 ワークショップ・マナ 土屋 睦実 TSUCHIYA MUTSUMI 作業の丁寧さがモッ トーです。</p>	<p>第2アドナイ館 訪問介護職員 山本 直子 YAMAMOTO NAOKO いつも笑顔で明るい ところ です。</p>	<p>第2アドナイ館 施設介護職員 袴田 佐知江 HAKAMATA SACHIE 我慢強いです。</p>

